

文学の森へ、ようこそ。

高志の国文学館

2012年7月6日(金) OPEN

富山県は、万葉歌人・大伴家持が223首もの歌をよんだ越中万葉ゆかりの地。

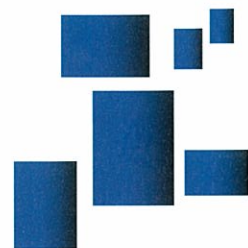
また、堀田善衛氏、源氏鶏太氏や角川源義氏、辺見じゅん氏といった作家や歌人を輩出しています。

柏原兵三氏の『長い道』、宮本輝氏の『螢川』など、富山を舞台にした文学作品も多数あります。

映画では滝田洋二郎氏、本木克英氏、漫画では藤子不二雄①氏、藤子・F・不二雄氏らを生んでいます。

高志の国文学館は、富山県ゆかりの作家や作品の魅力を幅広く発信し、

誰もが気軽に親しみ、楽しんで学ぶとともに、創作への刺激となる場も提供していきます。



高志の国  
文学館

KOSHINOKUNI  
Museum of Literature



## 企画展示の蔵



### 企画展示

自主企画や巡回展などの様々な展覧会を開催します。可動壁や可動ケースを組み合わせることで、あらゆる企画内容に対応でき、フレキシブルな展示更新が可能です。

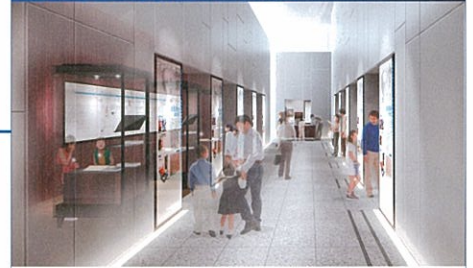
## ふるさと文学の回廊①



### ふるさと文学万華鏡／大伴家持物語&山岳文学物語

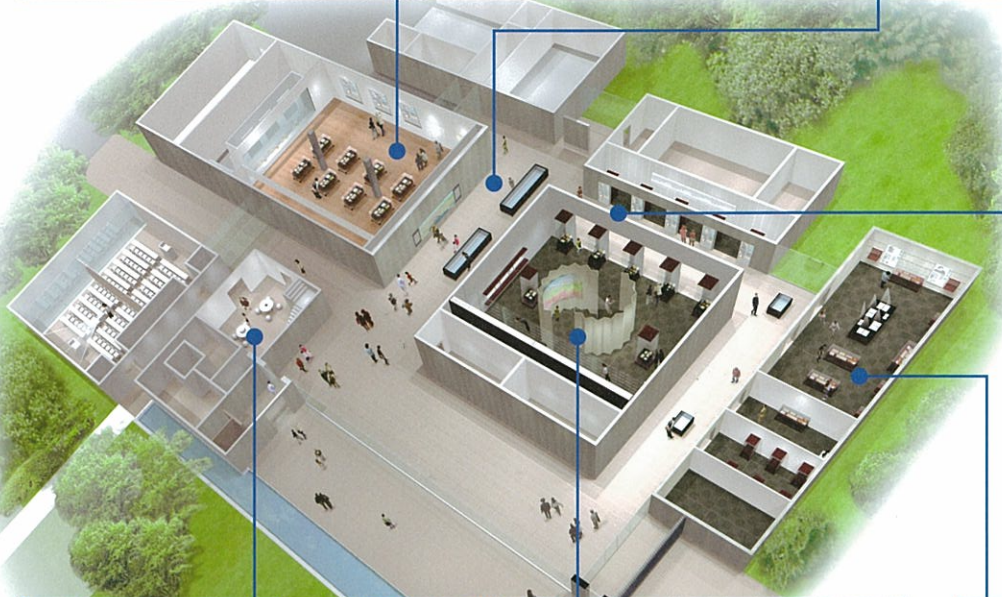
鏡面の箱の中で映像を映し出す万華鏡のように演出します。大伴家持物語では、家持の作風に富山の自然や風土がどれほど影響したかを伝えます。山岳文学物語では、立山が育んだ文化や文学の話を分かりやすく伝えます。

## ふるさと文学の回廊②



### 常設展示／ゆかりの文学者たち

富山ゆかりの文学者の殿堂空間。富山が育んだ創作の息吹を感じ、来館された方の知的好奇心を刺激します。直筆原稿や愛用品などの実物が鑑賞できます。



## 親子スペース



親子や幼児がのびのびと文学や絵本・漫画などに親しめるスペースです。

## ふるさと文学の蔵①



### 常設展示／万葉とばし

万葉歌を天にとばして、家持が詠んだ富山の景色をよびもどし、家持の心情や越中万葉の素晴らしさに触れる体験装置。オブジェの周囲では、『万葉集』に関する貴重な資料を展示します。奥には壁面いっぱいに書架を配置し、膨大な蔵書をダイナミックに展示します。

## ふるさと文学の蔵③



### 常設展示／漫画・アニメ、ヘルン文庫、越中の先人

ゆかりの漫画家、先人を紹介。パネルや作品原画、愛用品、創作ノートなどを展示します。また、体験型展示ソフト(不思議の本)で、本の形をした投影部分に映像が流れ、漫画やアニメの原理、創作工程などを楽しく学べます。

## 高志の国文学館 利用のご案内

- 開館時間** 『展示部門』 9時30分～17時(入場は16時30分まで)  
『研修室・和室』 9時30分～21時
- 休館日** 火曜日(祝日を除く)、祝日の翌日、年末年始、臨時休館日
- 展示観覧料** 常設展示:一般 200円(160円) 大学生 160円(100円)  
企画展示:企画展ごとに設定
- 次の方は、常設・企画展ともに無料で観覧できます。
- 小・中・高校生及びこれらに準ずる方、社会人等で18歳以下の方
  - 児童福祉施設等に入所または通所している方
  - 各種手帳をお持ちの障害者の方

※( )内は20人以上の団体料金

### 【お問い合わせ先】

〒930-0095 富山市舟橋南町2番22号 TEL076-431-5492 FAX076-431-5490

